



## 新 NISA も始まるので、投資について考える

以前も取り上げましたが、令和 6 年 1 月より NISA 制度の改正があります。

	現行	新制度
年間投資上限	つみたて 40 万円 一般 120 万円	つみたて 120 万円 成長投資 240 万円
非課税期間	つみたて 20 年 一般 5 年	<b>無期限</b>
生涯投資上限	つみたて 800 万円 一般 600 万円	1,800 万円 うち成長投資枠 1,200 万
制度の併用	2つの制度の 併用不可	<b>併用可</b>

ざっくりとこんな感じです。投資枠が 2~3 倍程度、非課税期間が無期限になり、特に長期投資に有利になりました。**かなり税制上の優遇をするから、老後資金は自分で運用してくれ**という国の意図がはっきり見えます。

最近では株式でも配当利回りが 5%を超えるような銘柄も散見されますので、これらの配当を無税で受け取り、将来的に値上がりした元本も無税で換金できれば文句なし！ですが、長期投資で株式や投資信託を購入するからには値下がりリスクも当然発生します。その長期投資リスクをなるべく軽減するためによく言われるのが「分散投資」です。

分散投資だ！ということで世界各国の投資信託等を少しずつ購入する方もおられますが、これはおすすめできません。世界経済は繋がっており、どこかで暴落が起きれば他の場所でも影響が波及して暴落するのが常です。**「地域分散」の考え方では、すべてが同時にコケるので結局リスクヘッジにならないのです。**

ですので、分散を考えるなら「時間分散」、つまり購入する日時を分散してリスクを軽減するのが正しいです。「ドルコスト平均法」はまさにこの考え方で、暴落があった時期には同じ資金でより多くの株式等を取得できるので、平均取得単価を下げることに繋がります。

個別の株式に目を向けますと、新 NISA を意識して、安定した個人株主を増やしたいという動きが増えています。例えば NTT は今年 7 月に 1 株 25 株へ株式分割を行い、1 単元 (=100 株) を 18,000 円前後で買えるようにしました。**この金額でしたら、毎月予算に合わせて数万円ずつ積み立て感覚で株式の買い増し**ができます。NTT は将来的に日本政府が株式を売却していく方向で議論されていますが、国外事業展開をしやすくするため、という噂もあります。そうすると将来性も高く、安定した成長と配当、かつ絶対潰れないであろう企業ということで NISA には最適な銘柄だと思います (購入は自己責任でお願いします！)。